

Press

ロンドン 2022年7月20日

アルセロール ミッタル社ゲント製鉄所向け LD 転炉 (BOF)が稼働開始

- 革新的なサスペンションシステムを採用した大型 LD 転炉が稼働開始
- LD 転炉は吊り上げて、製鉄所内の高さ 10m のパイプブリッジ上を通過
- 処理容量と炉体形状の最適化により、歩留まりとエネルギー効率をベンチマークレベルまで改善

プライメタルズ テクノロジーズ(Primetals Technologies)がアルセロール ミッタル ベルギー (ArcelorMittal Belgium)のゲント製鉄所に納入した LD 転炉(BOF)が稼働を開始しました。当社は仮 組立作業をフォローする革新的な手法を用いました。

380トン転炉を吊り上げる

お客様は厳しいプロジェクトスケジュールをキープするために、ほとんどの仮組立をポーランドの製造拠点で行うことを希望されていました。そのため、炉体とトラニオンリングはポーランドで1ユニットとして組み立てることとなりましたが、そうすると、ゲント製鉄所の既存のパイプブリッジの下を通過できない大きさになります。そこで、1,000 トンクレーンを使って約380 トンのベッセルとトラニオンリングを吊り上げ、高さ10メートルのパイプブリッジの上を通過させる策を立て、実行しました。

お客様のプラント休止期間は35日と厳しいものでしたが、当社は綿密に計画・準備を行い、LD 転炉3号機の工事を継続し、期間内に完工しました。工事を円滑に進めるための重要な準備を2021年6月に行われた予備休止時期に行っておいたのがその一例です。

アルセロール ミッタル ベルギー、プロジェクトマネージャー Glenn Gosseye 氏談 「着工から試運転まで、プライメタルズ テクノロジーズ社のプロジェクトチームと非常にプロフェッショナルなコラボレーションを経験することができました。」

アルセロールミッタルベルギー、プロジェクトエンジニア Hannes Seys 氏談

Primetals Technologies, LimitedA joint venture of Mitsubishi Heavy Industries and partners Communications

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road W4 5YS London United Kingdom 「非常に厳しい環境下での作業でしたが、35 日間のプラント休止期間内という目標を達成することができました。」

最適化された転炉の形状

当社がアルセロール ミッタル ベルギーに納入した LD 転炉の特徴は、最適化された炉形状が製鋼プロセスの歩留まりとエネルギー効率をともに向上させることです。また、サスペンションシステム Vaicon Link 2.0 も重要な特徴です。20 年以上前に当社が開発し、改良を続けてきたこのシステムは、炉体をどんな向きでも安定させ、熱膨張を許容します。このため、転炉の寿命期間を通して理想的な状態が保たれます。

LD 転炉の平均的なヒートサイズ熱量は約 180 トンであり、330 トンは世界最大級です。ゲント製鉄所へへのこの LD 転炉の設置において、当社が供給した装置の総重量は 1,000 トンとなりました。

高品質な平鋼製品

プロジェクトの内容は、エンジニアリングと建設に加え、転炉、トラニオンリング、メンテナンスフリーサスペンションシステム、傾動装置、ロータリージョイントと配管、スラグシールド、ドッグハウスの部品などの設備供給でした。2013年に当社が納入した既存のスラグストッパーは再利用されました。

アルセロール ミタル ベルギーは、アルセロール ミタル ヨーロッパの平鋼製品部門に属しています。同製鉄所では、自動車、家電、建築など様々な市場に向けた高品質な平鋼製品を生産しています。当社とアルセロールミッタルの関係は長く、スペインとポーランドの製鉄所にヒートサイズ 300 トンの大型 LD 転炉を複数納入しています。



Primetals Technologies, LimitedA joint venture of Mitsubishi Heavy Industries and partners Communications

Chiswick Park, Building 11, 566 Chiswick High Road W4 5YS London United Kingdom アルセロール ミッタルのゲント製鉄所に新設された LD 転炉最初の溶解処理の様子

他言語(英語・ドイツ語・中国語・ポルトガル語・ロシア語)によるプレスリリース及び使用料無料

写真は、以下の URL よりご覧になれます。 www.primetals.com/press/

報道関係お問い合わせ先:

プライメタルズ テクノロジーズ ジャパン株式会社 社長室(広報担当:山下)

〒733-8553 広島市西区観音新町四丁目 6-22 三菱重工業 (株) 広島製作所内

電話 082-291-2181

プライメタルズ テクノロジーズ SNS 公式アカウント

linkedin.com/company/primetals

facebook.com/primetals

twitter.com/primetals

プライメタルズ テクノロジーズ (Primetals Technologies) は本社を英国・ロンドンに置き、金属鉄鋼産業におけるエンジニアリング、プラ ント建設、およびライフサイクルサービスの提供を行うパイオニアかつ世界的リーダーです。当社は電機、オートメーション、デジタライゼー ション、及び環境の総合ソリューションを含めた技術、製品、サービスの一式を提供しており、原材料から完成品まで鉄鋼のあらゆる分野を網 羅するだけでなく、非鉄分野でも最新の圧延ソリューションをお届けします。当社は三菱重工およびパートナーの出資によるグループ会社で、 従業員数は全世界で約7,000人です。詳しくは、下記 URL より当社公式ウェブサイトをご覧ください。

公式ウェブサイト: https://www.primetals.com/jp

Press reference number: PR2022022496jp